


岡崎市旧本多忠次邸開館10周年記念企画展

光の中のリック

2022 6.29(水)
→ 8.21(日)

- 開館時間／ 9時～17時（入館は16時30分まで）
- 休館日／ 月曜日（7月18日〈月・祝〉は開館）、
7月19日（火）
- 入館料／ 一般 300円・小中学生 150円
※岡崎市内在住・在学の小中学生、各種障がい者手帳をお持ちの方と
その介助者（1名）は無料 ※7月6日（水）は無料
- 主催／岡崎市
- 企画協力／ギャラリーオルフェ
フラワーアーティスト 藤井淳子（フィオリスト京都 主宰）
- 協賛／株式会社スカイ・リンク・ブラザーズ 
- 写真／久保田康夫（パウプラス京都株式会社）

開館記念日
7月6日（水）は
入館無料です

花瓶〈ラングドック〉1929年 花／藤井淳子

会場

岡崎市旧本多忠次邸

OKAZAKI CITY FORMER RESIDENCE OF HONDA TADATSUGU
〒444-0011 岡崎市欠町字足延40番地1（東公園内） Tel.0564-23-5015

※新型コロナウイルスの影響により、展覧会の開催期間等が変更となる場合があります。
最新の情報は岡崎市HPをご確認ください。

Sustainable Lifestyle

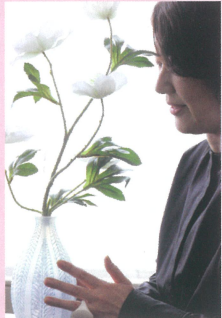
大切に丁寧に繋がれた日常に、きらめきと豊かさが満ちる。

フランスの工芸家ルネ・ラリック(1860-1945)はアール・ヌーヴォーの時代に宝飾の分野で活躍したのち、アール・デコの時代にはガラスという理想的な素材を得て、モダンで優美な作品を次々と発表しました。価値観が大きく変化していく中で、量産を基本とした実用性と、日々の暮らしを豊かにする芸術性の両立を果たしたラリックのガラスは、普遍的な美しさを湛え、今なお多くの人々を魅了しています。

一方、アーティフィシャルフラワーは、現代技術により生花の色彩や肌感までも再現した造花の一種で、繊細さと半永久の命を併せ持つ、サステイナブル(持続可能)な素材として注目されています。

今回の展示では、ラリックのガラス作品に、フラワーアーティスト藤井淳子氏が植物やアーティフィシャルフラワーをアレンジし、一世紀前の住人が、たった今客をもてなすために庭の花々を飾ったかのような、生き生きとした時間を現代によみがえらせます。

夏の日差しの中できらめくVerre(ガラス)とFlore(植物)の、世紀をつなぐコラボレーションをお楽しみください。



フラワーアーティスト 藤井淳子(フィオリスタ京都 主宰)

布花、生花のアレンジを学んだ後、京都でオランダのフラワーアーティスト ヨハン・スタム氏と共にスクールの立ち上げに関わり、オランダの公的な「ダッチ(オランダ)スタイル」の資格取得の礎を築く。現在はフラワースタイル教室「フィオリスタ京都」を主宰。美術館やホテルなどでの作品展開催や、ブライダルやショップのディスプレイ、ビッグネームとのコラボレーションイベント、和洋菓子商品開発などにも多数携わる。

フィオリスタ京都 <https://www.fioristakyo.com>



鉢《スズラン》1931年

花/藤井淳子 写真/久保田康夫



花瓶《アカシア》1921年

花/藤井淳子 写真/久保田康夫



花瓶《セイロン》1924年



カームスコット《大トンボ》1928年



立像《鳥の台付裸婦》1919年



蓋付花瓶《メブラットシレーヌ》1920年

関連イベント

2022年 7月2日(土)・3日(日)

●11時～ ギャラリートーク

藤井淳子氏、鈴木尚志氏(ギャラリーオルフェ)
館内を巡りながら、作品について解説します。

●14時～ デモンストレーション「ミッドサマー・夏至祭りに寄せて」
藤井淳子氏

ミッドサマー・夏至を祝う祭りに因んだアレンジをご覧くださいませ。
※各回とも参加無料(トークは要入館料)、事前申込不要です。
※混雑した場合は参加を制限させていただく場合があります。
※デモンストレーションは旧本多忠次邸のベランダで行います。コロナ対策及び
熱中症対策をお願いします。
※荒天の場合は中止となる場合があります。

連携館割引

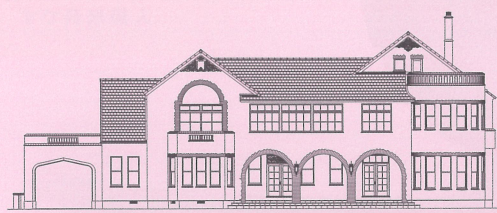
岡崎市美術館(岡崎市高隆寺町)では、特別企画展「ルネ・ラリックーアール・デコのガラス モダン・エレガンスの美」[会期:6月4日(土)～8月28日(日)]を開催しています。当館「光の中のラリック」展観覧チケット半券を岡崎市美術館の受付に、岡崎市美術館「ルネ・ラリック」展観覧チケット半券を当館の受付に提示することで、各施設で割引を受けることができます。

●岡崎市旧本多忠次邸観覧料 …… 一般 60円割引・小中学生 30円割引

●岡崎市美術館観覧料 …… 一般 100円割引・小中学生 50円割引

※使用済み観覧チケットの半券のみが有効です。未使用の招待券や無料配布された割引券では連携割引はうけられませんのでご注意ください。
※半券1枚につき1回限り、2名様まで、他の割引との併用はできません。

新型コロナウイルスの影響により、展覧会の開催期間等が変更となる場合があります。最新の情報は岡崎市HPをご確認ください。



岡崎市旧本多忠次邸

OKAZAKI CITY FORMER RESIDENCE OF HONDA TADATSUGU

〒444-0011 岡崎市欠町字足延40番地1(東公園内) Tel.0564-23-5015

徳川四天王のひとり本多忠勝(1548-1610)を始祖とする旧岡崎藩主本多家の子孫、本多忠次(1896-1999)が昭和7年(1932)、東京世田谷に自邸として建てた木造2階建の洋館です。平成24年(2012)に岡崎市に移築復原され、平成26年(2014)10月には国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。

【開館時間】 9時から17時

(入館は16時30分まで)

【休館日】 月曜日(月曜日が休日の場合は翌日以降の最初の休日でない日)、1月1日～3日、12月29日～31日、展示替期間

【交通のご案内】

